

「食育」に関する府民意見交換会における御意見について

食の安心・安全プロジェクト

「食育」に関する府民意見交換会を、府内4会場で開催しましたところ、211名の方に御参加をいただき、ありがとうございました。

会場でいただいた御意見を事務局で項目別に整理した要旨は下記のとおりであり、計画策定や、今後の取組の参考にさせていただきます。

9月 4日(月)午後2時～4時	京都府宇治総合庁舎(参加者63名)
8月28日(月)午後2時～4時	京都府亀岡総合庁舎(" 53名)
8月30日(水)午後2時～4時	京都府綾部総合庁舎(" 59名)
9月 5日(火)午後2時～4時	京都府峰山総合庁舎(" 36名)

府民意見交換会における意見要旨

項 目	要 旨
計 画 全 般	<p>4つの柱を中心に府民の健康を考えるのは分かりやすい。施策、目標、取組、体制等における概念的な表現や目的について、より具体的に記載して欲しい。</p> <p>家庭的要因や社会的要因も考慮した踏み込んだ計画が必要。子育て支援等京都府の他の計画との調整や連動した取組が必要。地域に適した食育を推進できる計画を作成し、府民運動として取組む必要がある。</p>
現 状 と 課 題	<p>咀嚼の重要性、食料事情、自給率、世界の人口問題、環境問題等を含めるべき。</p> <p>親が家庭にいる時間が少なくなっている分、家庭外での食育が大切になっている。</p> <p>大人も子どもも生活のゆとりのなさが食生活に悪影響を与えているのではないか。</p> <p>「食」への関心の格差が大きい、無関心の人をどうするかが問題。</p>
基 本 理 念 ・ 基 本 方 向	<p>子どもの頃に学んだことは大人になっても心に残るので、子どもの食育が大切。</p> <p>子どもについては「人格形成」も大きな目標と思う。</p> <p>栄養を考えたバランスの良い食事をとることが人格形成の基礎になると思う。</p> <p>子どもだけでなく、全世代で推進していくことを強調するべき。</p> <p>大人が自分の食生活、日常生活を見直せるよう大人の食育が必要。</p> <p>子どもだけでなく、その親、これから親になる若者の世代への支援も必要。</p>
食 育 の 取 組 (家 庭)	<p>家庭生活の基本が食生活、家庭から「食」を見つめ直し工夫することが大切。</p> <p>味覚は子どもときの体験が大事なので、小さいうちから学ぶ機会があればよい。</p> <p>子ども達の問題解決の取組は、親への押し付けや負担にならない内容にして欲しい。</p>

項 目	要 旨
食育の取組 (学校、保育園、幼稚園等)	<p>小・中・高と一貫したカリキュラムで実習も含めた食育を実施して欲しい。</p> <p>保育所給食を経験した子は残食、偏食が少ない。小学校からの食育では遅すぎる。</p> <p>学校での取組の中でPTAに対して家庭での食育の指導ができないか。</p> <p>家庭での食育は格差が大きいため、学校など集団の場での推進が重要。</p> <p>学校間の取組の格差が大きいため、計画でその格差が解消されることを望む。</p> <p>小学校での調理実習は時間的ゆとりがなく、設備も不十分である。</p>
食育の取組 (全 般)	<p>継続して取組を実施するためには、生活の中に食育を組み入れることが必要。</p> <p>常に食事の与える影響を意識して生活できるような工夫が必要。</p> <p>必要な栄養摂取の一覧表等、一人一人が自覚できる目標を設定してはどうか。</p> <p>虫歯、歯周病、内科疾患と食事の関係、噛む事の大切さも食育に含めて欲しい。</p> <p>子どもにとって農作業や収穫の体験は重要、地域でのプランづくりが必要。</p> <p>切り身で売っている魚の横に魚の絵を置く等、販売店も工夫してはどうか。</p> <p>各地域で食文化を伝承できるような取組が必要。</p> <p>季節毎の農産物、料理法、郷土料理・行事食の情報を府の広報紙等に掲載してほしい。</p> <p>身近な食育の指導者の育成が必要。</p> <p>食育標語を募集してはどうか。</p> <p>月1回高齢者の昼食会を開く活動に参加しているが、計画骨子を見て世代間の交流の大切さを感じた。昼食会に小学生との交流を提案しようと思う。</p> <p>食品の安全性に関する教材(わかりやすい冊子)を全家庭に配布して欲しい。</p>
関係者の連携	<p>個々に食育を行っている様々な団体が協力して、ネットワークをつくるのが大切。</p> <p>関係機関の情報の共有化は、重要である。</p> <p>食育ネットワークの構築には若い世代の意見を聞く場が必要。</p> <p>関係者の取組を企画するコーディネーターの育成、指導が重要。</p> <p>身近で参加しやすい小規模な地域ネットワークの構築を期待する。</p> <p>食育の取組では関係機関との調整が難しいので、ネットワークを足がかりとしたい。</p>